

市内循環バス「川越シャトル」の見直し案の再考を求める決議

平成23年第5回定例議会で市政報告がされた、「川越シャトル」の路線見直しは、現行の19路線から9路線を廃止し、路線距離257.1キロの内、廃止路線距離183.6キロ、存続路線距離73.5キロとするものである。しかし、今回の見直し案は、市民や議会の意見を反映する機会が不十分であることや、川越シャトルの事業目的である「駅や公共施設、住宅地を連絡する公共交通機関として、交通空白地域の解消を目的に運行する」に対し、全路線の3分2以上におよぶ廃止路線沿線に新たな交通空白地域を作り、事業目的に沿った見直しとは言い難い。

また、高齢者にとって公共交通機関の確保は、日常の買い物や通院のみならず外出機会の創出にもつながり、健康で生きがいのある望ましい生活を送るために大切なことであり、川越市に於ける高齢化の進展も考慮すれば、見直しによって廃止される路線を利用されていた高齢者や、今後利用が予測される多くの高齢者にとって、生活の足を奪うことになる。

市の財政の健全化に向け様々な施策が展開される中、川越シャトル運行のための補助金額縮小も課題の一つであるが、バス運行会社へ企業努力を求めるとことや運賃体系の見直し、路線毎のダイヤの見直しなど、路線廃止以外の方法による補助金額縮小についても更に熟慮するべきである。

以上のようなことから、川越市議会は市長に対し、川越シャトルの見直し案の再考を求める。

右、決議する。

平成23年12月16日

川越市議会



11月18日、さいたま市で開催されました議会広報紙の研修会に私たち編集委員も参加をいたしました。大切な事は「読み手に必要な情報が伝わったか」。当たり前のこの事を改めて再認識しました。読み手である市民の

編集後記

知的障がい者のための音楽作業所作りを目指すNPO法人から支援を受けて、施設やイベント等で大好きな音楽を発表している音楽グループ「いちご」の皆様は、キーボードや手話等で「大きな古時計」他5曲を演奏して頂きました。

議場コンサート



次回の出演予定 (平成24年第1回定例会) 「オカリナクラブ楽(がく)」

今定例会の傍聴人数

No. _____	
傍聴券	
平成23年川越市議会 第5回 定例会 合計159名の方が傍聴されました。	
開会日	11名
質疑①	12名
質疑②	23名
一般質問①	41名
一般質問②	8名
一般質問③	23名
一般質問④	29名
最終日	12名
川越市議会	

次回もお待ちしております

発行 川越市議会
編集 川越市議会広報紙
編集委員会
電話 049-224-6067

皆様に「伝わった!」と感じていただけるように、研修会で学んだ知識を活かしてより良い議会広報紙をお届けできるよう努めてまいります。
(明ヶ戸亮太)